

## 第2回二宮町行政改革検討委員会 会議要旨

開催日時	平成27年5月1日（金）10時00分～12時00分	
開催場所	二宮町役場2階 第一会議室	
出席者	委員	出席7名 後藤伸委員、手塚明美委員、廣上正市委員、柳川幸司委員、佐久間良輔委員、水口圭三委員、露木孝子委員
	その他	傍聴 3名
	町職員	政策部長
	事務局	政策部企画政策課3名
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開 会</li> <li>2. あいさつ</li> <li>3. 議事               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 第3次二宮町行政改革推進計画の事業評価について</li> <li>(2) 第4次二宮町行政改革大綱の重点項目（案）及び個別項目（案）について</li> <li>(3) その他</li> </ol> </li> <li>4. 閉会</li> </ol>	
配布資料	<p>資料1 第3次二宮町行政改革推進計画進捗状況及び事業評価一覧</p> <p>資料2 第4次二宮町行政改革大綱の重点項目（案）及び個別項目（案）</p>	

## ■会議概要

### 1. 開会

### 2. あいさつ

### 3. 議 題 【質疑・意見など】（※◎は会長、○は委員、●は事務局の発言）

#### (1) 第3次二宮町行政改革推進計画の事業評価について

- 評価方法について定性的な評価では実態や詳細が見えない。定量評価をした方が良い。
- 個別の評価についてホームページで掲示しています。その中で詳細については確認できます。
- 参考でつけている個別評価の取組み目標についての設定方法が良くない。検討回数などのプロセスではなく、成果を目標とするべき。
- 今後の検討委員会の予定の確認をしたい。
- 今回を含め、あと3回予定しています。1回目の前回は基本方針の検討、本日の2回目は重点目標と個別項目の検討、3回目は個別項目と具体的な取組みの検討、4回目は意見取りまとめと提出予定となっています。
- ◎資料1の今後の方向性にある廃止についてはどのようなようになるのか。
- 第3次二宮町行政改革の進捗を踏まえて判断して廃止としています。  
検討していく中で廃止だった項目が追加となることもありえると思います。
- ◎資料1の事業評価については報告と言う形でよろしいか。
- そのとおりです。
- ◎資料1の見直し又は継続は資料2に記載があるということだが、資料2において個別項目のNo.がふられてないものについて確認したい。  
新しい項目として起きているものか。
- 第3次行政改革の中で該当する項目がなかったものが、第4次行政改革で新規に追加して取組みをしたい項目となります。
- No.23 産学公は手段であって、何を目的に実施しているかがわからない。
- 目的については様々なことが考えられますが、資料2においては『多様な主体との協働』として行政改革の基本方針に位置付けをしています。

#### (2) 第4次二宮町行政改革大綱の重点目標（案）及び個別項目（案）について

- 依存財源とは何か。
- 依存財源は町単独の財源だけでなく、国・県補助金の該当する財源を活用していくものになります。
- 基本方針の『多様な主体との協働』について、個別項目における『町民参画の仕組みづくり』の対象は個人、グループ、団体となっているのか。個人、グループ、団体と分けて、町の人全員が町を支える様、別に考えた方がよいのではないか。
- 『町民参画の仕組みづくり』については、具体的な取り組みの中で個人とグループなどの分け方についても検討していきます。
- 今後の行政改革の中で方向性を示しておく必要があると思われる。  
町民参画については地域福祉計画など、他の計画と行政改革の中でボランティアの関わり方などの部分でかみ合わせていかないといけない。
- 防犯灯LED化が実施できたから廃止にするより引き続き確認作業は町民で行う必要があるのではないか。
- 防犯灯の点検等は地区との業務フローとしてはできています。第3次行政改革では管理経費を含めて移管を検討していましたがLED化ができたため管理経費を地区に移管する必要がなくなったことで廃止としています。
- ◎重点目標、個別項目について何か意見があれば伺いたい。
- 『アウトソーシングの推進』を重点目標として起こす必要があるのではないか。  
『規制緩和』についても項目として起こす必要があると思われる。  
例えば、駅前の高さ制限の変更などコンパクトシティを考えるのであれば、ある

程度規制緩和を検討する必要がある。

- 規制ができた背景として駅前の吾妻山周辺にマンション計画があり景観の観点も含め、規制を設けたのではないか。
- 駅前の規制緩和は行った方がよいのではないか。  
例えば二宮小学校を移転等した場合、移転後の土地利用を考えれば規制緩和をして有効活用した方がよい。
- 民間は売上げを増やすことを考えないと経費を削減するばかりでは潰れてしまう。
- 規制緩和については様々な意見があると思う。  
具体的な規制緩和方針をこの検討委員会で議論するのは慎重にした方がよいのではないか。
- 消滅可能性都市に二宮が入っている。人口減少が原因で人口を増やすことを考えることが必要なのではないか。
- 全国的な人口減少を受けて今後の長期人口ビジョンを作成し、今後5年間の総合戦略を策定していく予定です。
- 『公共施設の統廃合・再配置』ではなく施設の有効活用をするべきではないか。
- 規制緩和については資料2 具体的な取り組みの中の『まちづくり条例の制定』と『町民活動推進条例の見直し』で必要性を検討していきます。  
『人件費の削減』の具体的な取り組みの中の『委託化の推進』でアウトソーシングを検討していきます。  
『公共施設の統廃合・再配置』については項目を変更していきます。
- 『人件費削減』の具体的な取り組みの中でのアウトソーシングでは矮小な計画に受け取ってしまう。  
アウトソーシングは仕事の見直しが主となるため、具体的な取り組みでは足りない。
- 重点目標、個別項目に民間活用として入れた方がよろしいですか。
- 民間活用ではなくアウトソーシングの推進や業務の見直しとしての表現がよいのではないか。
- 『多様な主体との協働』にいたらどうか。
- 『組織のスリム化』の中で行うことが必要であり、協働とは違うと思う。
- 公園愛護会などは協働でいいかと思うが主とするアウトソーシングの推進は直接雇用の削減などで組織のスリム化に当たるのではないか。
- 企業との協働ではどうか。
- 企業はビジネスで実施しているため協働ではない。
- 神奈川県の情報化の推進について二宮町は実施しているか。  
電子化の推進はどの様になっているか。  
アウトソーシングの体制の強化は通常業務を実施しながら新しい事を考えられる人材の確保につながると思う。  
町村情報システム共同組合で手続きの共通化の実施を行うことなどにより新しい業務を行う時間が作って行けると思う。  
優秀な人材の確保、人件費の削減だけでは町が衰退していつてしまう。
- アウトソーシングについては個別項目の中で整理していきたいと思います。  
町村情報システム共同組合の電子化は町民サービスの向上の行政手続きの電子化に入っていると考えています。  
『人件費の削減』については人に係る経費を減らしていくこととして個別項目で考えています。
- 減らすという視点だけでなく優秀な人材活用という視点で項目設定をしていく必要があるのではないか。
- 人材活用として項目を検討していきます。
- 個別項目の『人件費の削減』は『効率的な組織体制』の実現の中で業務の見直しとしてアウトソーシングの推進をしていった方がよい。  
『人件費の削減』では目標数値の設定が難しいのではないか。

- 『組織の見直し』は既の実施しているため改めて項目をおこす必要はないのではないか。
- 重点目標の『効率的な組織体制』の実現は『業務処理の効率化』とした方がよいのではないか。
- 基本方針の『組織体制の強化』は、『組織体制の効率化』だったのではないか。
- 『時代にあった組織体制の最適化』を『時代にあった』という点を削除し、『最適化』を『強化』に変更するとの議論が前回の会議であったと思います。
- 『強化』を『最適化』に変更したら良いのではないか。
- 『最適化』とは何に対して最適化と前回議論になり、変更したと記憶しています。
- 『組織体制の強化』よりは『スリムで強靱な』というような表現はどうか。
- 組織を最初から目標で見直すよりは業務を見直すということではないか。  
『組織体制の強化』を基本方針とするよりは『業務処理の改善』ではないか。
- ◎この部分は次回、再度議論をしたいと思います。  
重点目標の『情報の透明化』が項目としてあがっているが、個別項目の『町民サービスの向上』の具体的な取り組みに『行政手続の電子化・ネットワーク化』があるが違いは何か。
- 個別項目の『窓口サービスの向上』については行政の欠かせないサービスの向上を意図としています。『多様な主体との協働』の中に『情報の透明化』があります。オープンにすることで町の発信力の強化をすることで基本方針に繋がっていくとして項目を起こしています。
- ◎数値目標設定のイメージがわからない。
- 情報開示請求等も数値目標に入ってくるのではないか。
- そう考えています。
- 町の財政が硬直化していく中で、収入に応じた支出をしなければならないが行政改革に反映がされていないと思われる。
- 『組織のスリム化』で検討することも必要であるが財政の厳しい中で公共施設の維持管理の確保が必要と思う。また、民生費を抑制し、支出を如何に減らすか大事になってくると思う。
- 『町民参加の仕組みづくり』の充実を図るような項目を増やしていった方が良い。  
具体的な取り組みにある『地域コミュニティ活動の推進』だけでは少ないと思う。
- ◎今後の予定についてはどうなっていくか。
- 今回の議論を踏まえて基本方針、重点目標を修正し、次回は個別項目、具体的な取り組みを議論していただく予定です。  
また、大綱のイメージを次回の検討委員会で示していきたいと思います。
- 次回、規制緩和の検討を議論していきたい。
- ◎駅前の規制緩和は今回の検討委員会で取り上げていく項目ではないと思うがどうか。
- 中身は別にして規制緩和を入れていくかどうかを検討していきたい。
- ◎議論として取り上げ、行政改革として取り上げるべきかどうか判断していきたいと思っています。

### (3) その他について

- 事務局で本日の意見をまとめ、次回報告を行う。
- 次回会議は5月下旬6月上旬頃を考えている。また、資料は事前送付を行う。

## 7. 閉 会